

一般事務



総務部 総務課 総務班
主事 川辺 義樹

経歴：採用11年目

- R 2年 総務部 総務課 総務班
- H28年 観光文化スポーツ部
観光戦略課 総務班
- H25年 建設部 秋田港湾事務所
管理班
- H22年 入庁
由利地域振興局 総務企画部
県税課 納税班

ある日のスケジュール

- 5:50 起床、身支度
- 6:20 朝食、子供の世話
- 7:25 子供を保育園へ送る
- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 各種支払い等の事務処理
- 10:30 予算の執行状況等を確認
- 12:00 昼食
- 13:00 予算関係について財政課の
担当職員と打合せ
- 15:00 照会や調査等のとりまとめ
- 16:30 メールチェック
- 17:00 翌日の業務予定を確認
- 17:15 退庁
- 17:50 子供のお迎え
- 18:15 帰宅、子供の世話や家事
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところです

総務部総務課は、主に行財政改革の取組や県条例のとりまとめ、秋田県県民栄誉章の実施など県政全般にかかる業務を所管しています。また、新型コロナウイルス感染症対策本部事務局として感染症対策における県民への注意喚起などの情報発信を行っています。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に総務や経理に関することを担当し、会計年度任用職員の任用後の各種手続き等や予算、決算に関するとりまとめを行っています。対外的な折衝等はあまりありませんが、担当している課室の業務が円滑に進むように関係部署等から情報収集を行い、連絡調整を行っています。

秋田県のここが好き！

静かな環境や四季がはっきりしているところです。都市部と比べ交通量が少なく、安心して子供を遊ばせることができます。また、四季折々の行事やイベントがあり、子供に色々な体験をさせてあげられる環境があることは秋田県の魅力だと思います。

行政・一般事務職のやりがい(楽しさ)はここ！

現在私が担当している総務・経理のような内部の業務から、前所属で担当した観光や納税などの対外的な業務まで幅広い分野に携わることができます。異動先で新しい知識を得たり様々な経験をすることで、自分の知らない新たな興味のある分野に出会えるかもしれません。

これまでで特に印象に残っている出来事(エピソード)はありますか？

県有観光施設である男鹿水族館の運営業務を担当できたことです。魚釣りが趣味で、魚が好きなこともあり、元々水族館に興味がありました。これまでは、客としてただ楽しんでいましたが、業務となると実際に運営する上でどの程度の経費が必要になるのかや様々な課題があることを知り、入館者の増やし方や施設の改修などを管理者と一緒に考え、取り組んだことが貴重な経験になりました。

入庁してから、何か大変だったことはありますか？

仕事と子育てを両立させることに大変さを感じることはありません。子供が体調不良の時は看護のため休まなければなりませんし、期限の近い仕事が出た時は、保育園に迎えに行くために仕事を切り上げることはできるかなど、時間のやりくりを考えなければなりません。そのため、業務については先を見据え、着手できるものは早めに取りかかるようにしています。また、こういった場合にどう対応するのか家庭内で予め相談し合うようにしています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県職員になることでより秋田県を意識して働くことができます。そして今まで気付かなかった秋田の魅力や良さを知ることができました。皆さんも秋田の魅力を再発見し、その魅力を後世に伝えていきましょう！待っています！！



産業労働部 産業技術センター
総務管理部 総務管理班
主任 伊藤 佳菜子

経歴：採用19年目

- R 2年 産業労働部
産業技術センター
総務管理部 総務管理班
- H29年 健康福祉部
福祉相談センター
相談第二班
- H26年 建設部 建設政策課 経理班
- H23年 秋田地域振興局 総務企画部
総務経理課 工事契約班
- H20年 北秋田地域振興局
総務企画部 総務経理課
工事契約班
- H17年 由利地域振興局 総務企画部
県税課 課税班
- H14年 入庁
雄勝地域振興局 福祉環境部
企画福祉課 児童・障害者班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝コミ、メールチェック、
照会案件へ対応
- 9:00 研究物品の発注事務
- 12:00 昼食
- 13:00 研修会講師の旅費・謝金の
手続き
- 15:00 支払伝票の作成
- 17:15 退庁
- 18:00 子供のスポ少活動を見学

わたしの職場はこんなところです

産業技術センターは、秋田市のこまちスタジアムに隣接している試験研究機関で、秋田のものづくり企業を技術の側面から支援しています。

たくさんの方の企業が、技術相談や、その企業で設置していない分析装置や加工設備を利用するために来所します。また、県内外の企業や大学等の研究機関と共同研究も行っています。

職員は66名、そのうち49名が研究員です。

わたしは今、こんな仕事をしています

研究物品の調達や、職員のサービス管理など業務は多岐にわたります。地味な仕事のように思われますが「縁の下の力持ち」として、県内企業の技術の発展のための研究業務を支えています。

秋田県のここが好き！

四季折々にある伝統的なお祭りはどれも感動するものばかりで、そこで暮らす自分の生活にしっかり組み込まれています。

季節を感じる食とお酒も大変魅力的です。秋田の食事とお酒は普段のものさえご褒美級のものが多く、日々の疲れを癒やしてくれます。

行政・一般事務職のやりがい(楽しさ)はここ！

業務分野が幅広く、配属先も広範囲のため大変なことは多いです。しかし、異動のたびに経験が増え、知識が広がることは、自信となり、楽しさにもつながります。

また、同じ仕事の内容でも、勤務地が変わると、その地域の人に合わせて働き方が変わります。色々な分野で地域と人を支える仕事は、やりがいを感じる事ができます。

上司や仕事仲間との印象的なエピソードがあればおしえてください。

上司や先輩たちと仕事をして、相手のために、組織としてどうすべきかを一番に考えるようになりました。仕事をする上で、広く周りをみて、組織の一員としてどのようにするのがベストか考えて業務を進めることが重要であることを学びました。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください

担当業務や勤務地が変わるたびに、新しい知識、人脈、経験を得られることは県職員ならではの魅力です。

また、子育ての面では、育児休業が取得しやすく、復帰後も、看護休暇など福利厚生がしっかりしているほか、子育ての先輩たちがサポートしてくれるので、子育てをしながらでも働きやすい環境です。土日はしっかり休めるので、平日に不足しがちな子供との時間もしっかりと、リフレッシュできます。

オフは何をしていますか？

家族や仲の良い友人と一緒に出かけたり、美味しいものを食べたり、美味しいお酒を飲んだり、しっかり遊んで、しっかり休んでいます。年次休暇や夏季休暇も計画的に取得し、オフを充実させています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県職員だから知ることができる秋田がたくさんあります。今までと違う視点で秋田をみて、考えるほど秋田が好きになりますよ！様々な業務がありますが、その多くが民間企業では補えない事業であり、人の生活や秋田県を支えるものなので取り組みがいがあります。一緒に大好きな秋田をつくりましょう！